

新中期経営計画  
Grow Globally -  
説明資料

株式会社クレハ

2012年1月23日

# 東日本大震災に遭ったいわき事業所

株式会社クレハ



(1)

# いわき市でのボランティア活動

株式会社クレハ



# 絆



**KUREHA**

## ・現中計「中期経営計画Grow Globally」の振り返り

コ ン セ プ ト

実 績 推 移

# 現中計「中期経営計画Grow Globally」の振り返り (1) ～コンセプト～

株式会社クレハ

「中期経営計画Grow Globally」のコンセプト

**“グローバルな成長の実現”**

**“新規事業の着実な成果実現” を図る。**



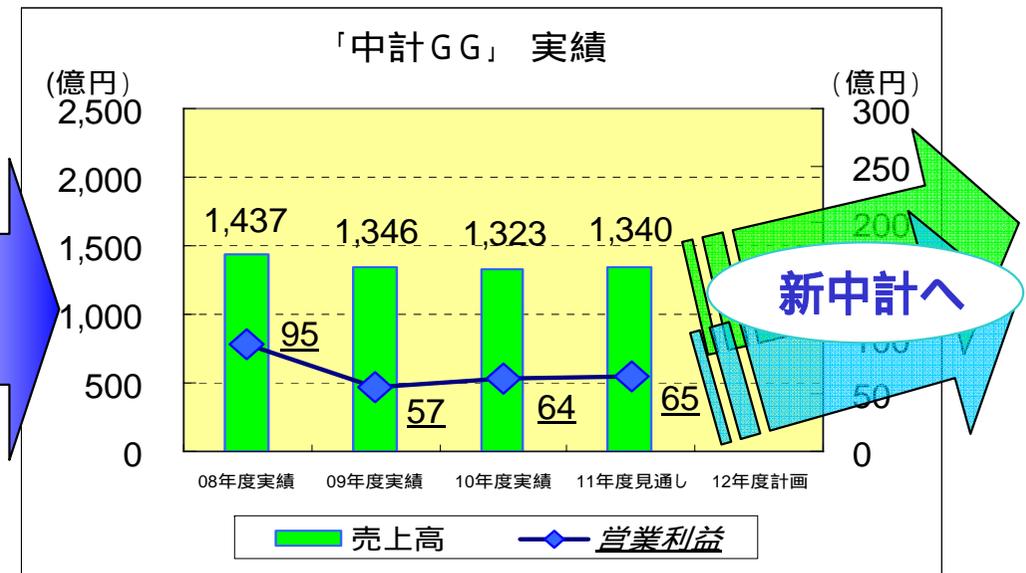
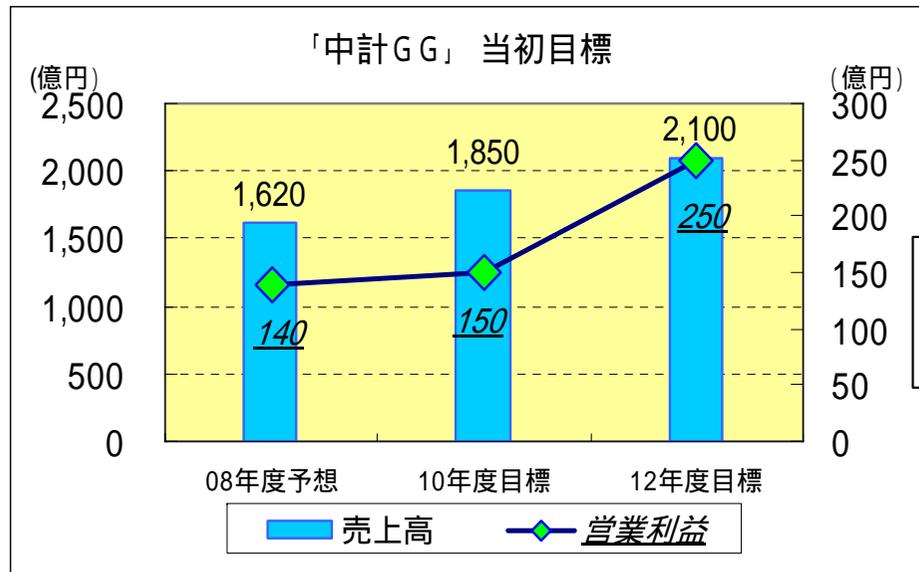
地球市民として社会へ貢献～“環境”、“暮らし”をターゲット

KUREHA

# 現中計「中期経営計画Grow Globally」の振り返り(2) ～ 中計GG当初目標との比較～

株式会社クレハ

## 「種蒔き」から「実り」、そして「収穫」へ



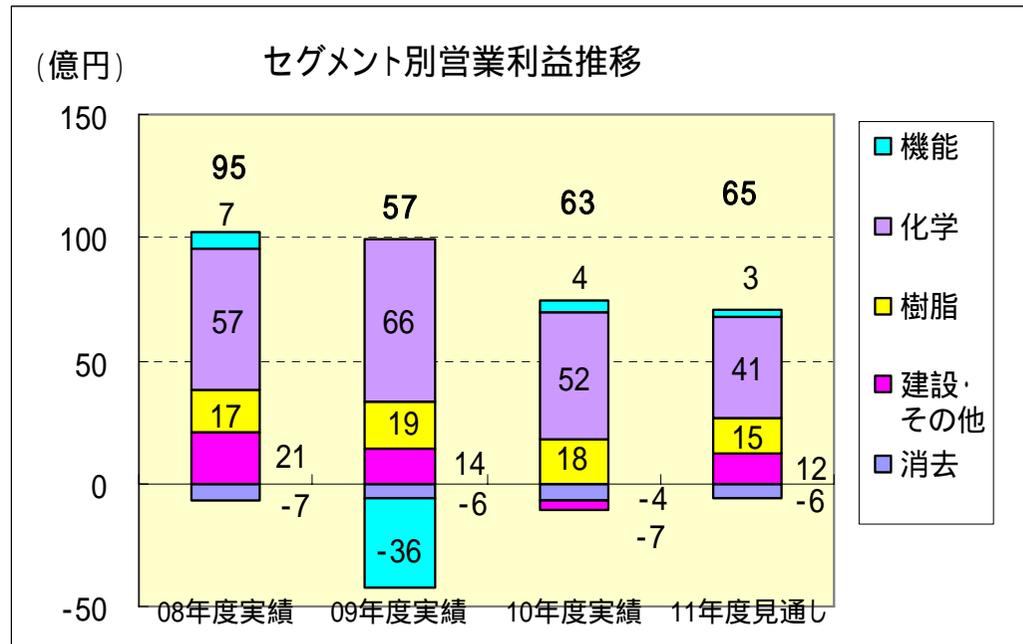
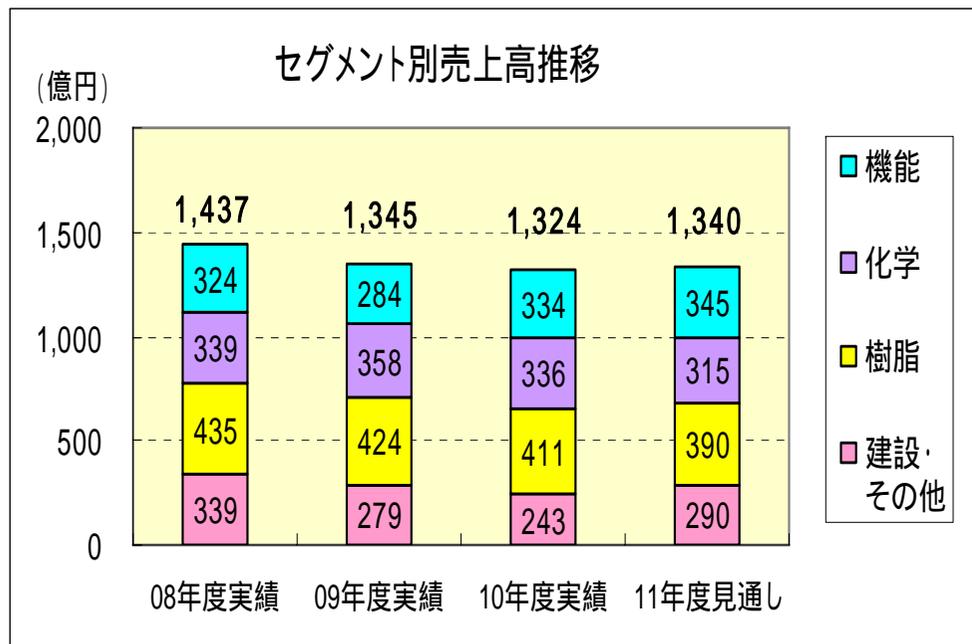
- 中計GG策定直後のリーマンショックにより世界経済が大減速し、回復に時間。東日本大震災の影響も受ける。
- 為替水準は当初想定の105円 / \$ から70円台 / \$ へ、155円 / €から100円台 / €へ
- 設備投資は2008～11年度累計で653億円、研究開発費は同累計238億円で、将来に向けた準備を着実に実施。
- 新規事業の電池材料は着実に前進するも、PGAは飲料用途から新用途(シールガス・石油掘削等)での展開にシフト。
- 米国および中国での統括会社設置、ベトナムでの包装材生産拠点の立ち上げなど、今後の競争力と展開力の確保に注力。

KUREHA

# 現中計「中期経営計画Grow Globally」の振り返り(3)

## ～実績推移～

株式会社クレハ



**機能製品**：PVDFはバインダー用中心に拡大、炭素繊維は設備投資するも需要変動の影響を受ける。

PPS米国合併会社は能力増強。PGAの米国プラント完成するも、本格稼働はこれから。

**化学製品**：慢性腎不全用剤は国内向け数量伸張、農業用殺菌剤は数量拡大もユーロ安の影響大。

**樹脂製品**：業務用包装資材は採算改善に注力、家庭用品はリニューアル継続でブランド価値向上。

**建設・その他**：産業廃棄物処理のかながわ事業所を新設。

**KUREHA**

# ・新中計「中期経営計画Grow Globally- 」について

経営目標

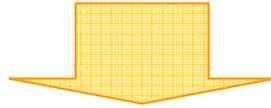
定量計画

成長ドライバー

# 新中計「中期経営計画Grow Globally- 」 ～ 経営目標～

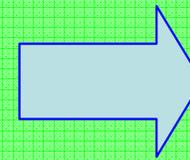
株式会社クレハ

「中計GG」で掲げた成長シナリオは不変だが、定量計画は見直しが必要



- 「中計Grow Globally- 」のコンセプトは、中計GGに同じ。
- 2012年度から2015年度までの定量計画を策定。

“グローバルな成長の実現”  
“新規事業の着実な成果実現”



「投資回収をしつつ、  
増収・増益へ」

経済・社会環境の変化

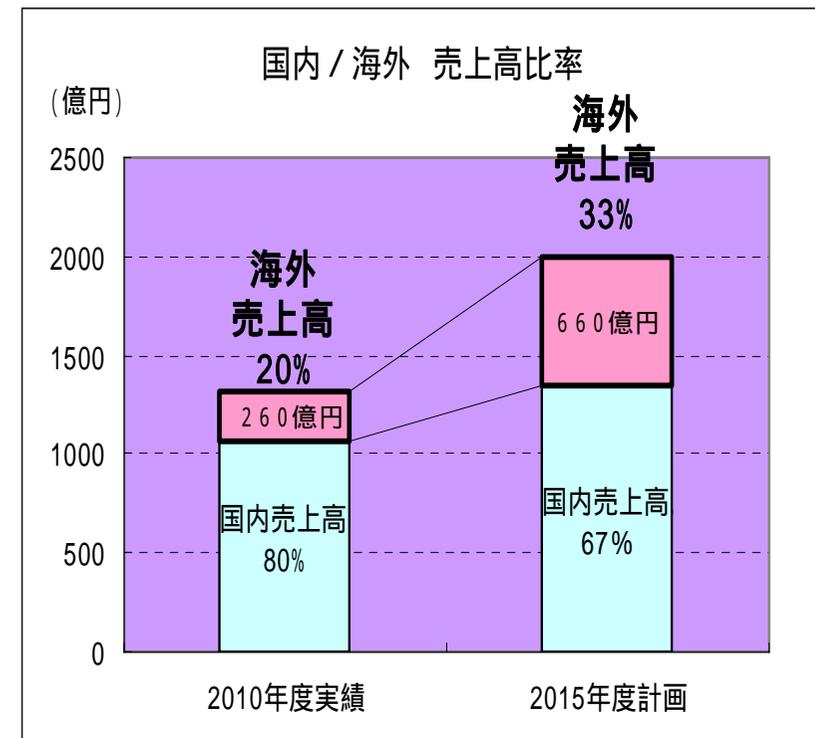
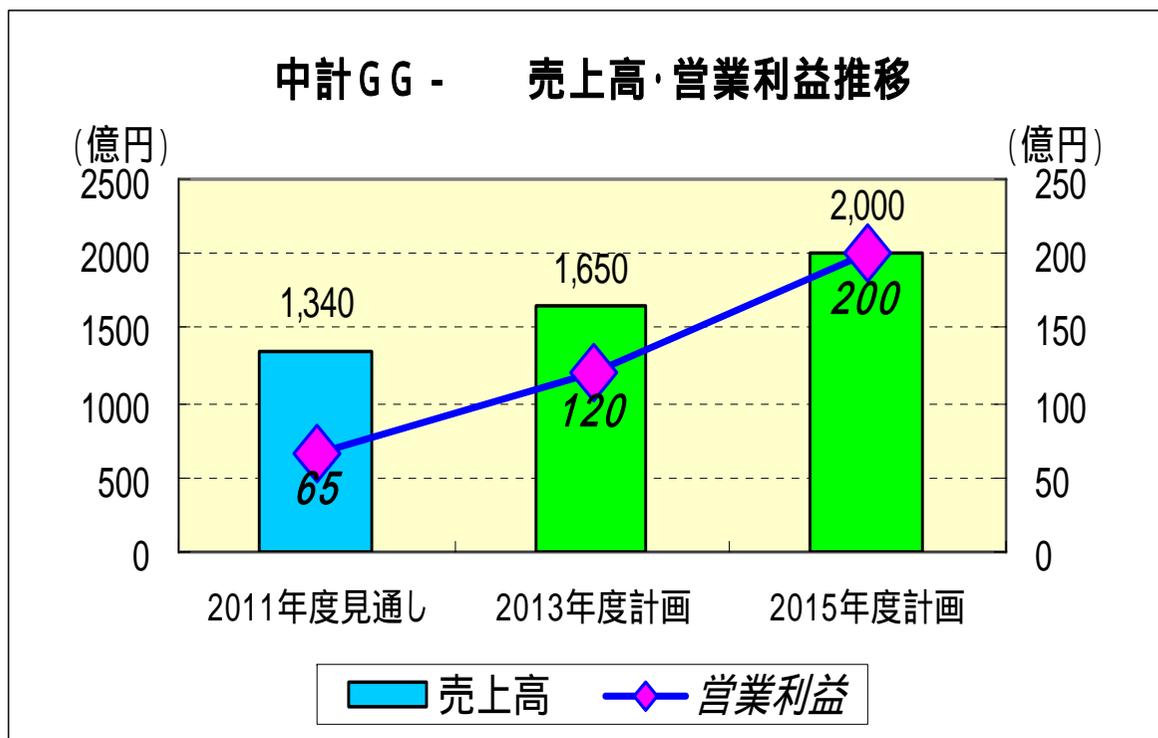
環境との調和を図りつつ適応

企業価値の向上

KUREHA

# 新中計「中期経営計画Grow Globally - ~ 定量計画(全体) ~

株式会社クレハ



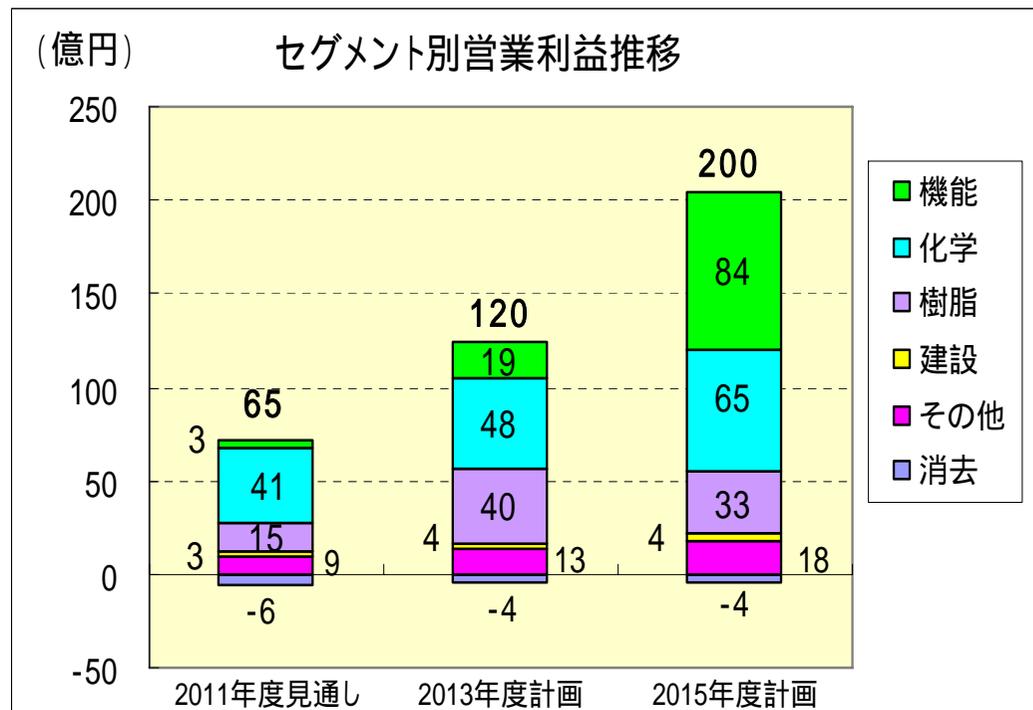
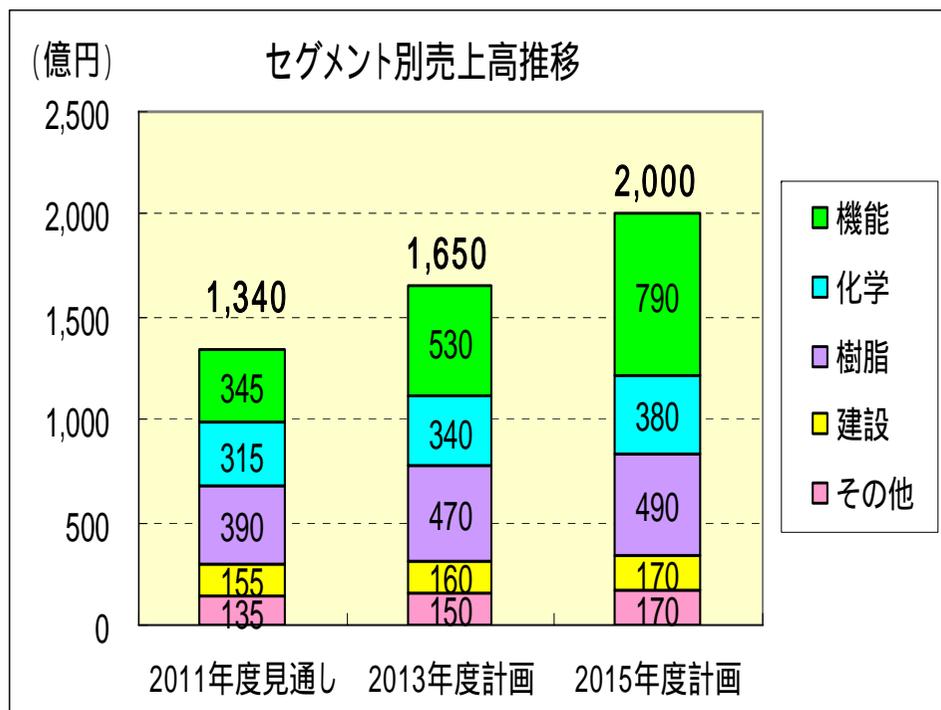
- ・ 設備投資額：2012～15年度 累計900億円
- ・ 減価償却費：2013年度計画110億円、2015年度計画140億円
- ・ 株主還元：安定的・継続的な配当を基本とする。

< 前提条件：為替80円/\$・100円/€ 減価償却は2012年度より定率法から定額法へ変更 >

**KUREHA**

# 新中計「中期経営計画Grow Globally-」 ～ 定量計画(セグメント別)～

株式会社クレハ



## 増収・増益要素となる主な製品とその用途

【機能製品】 PPS (自動車部品用途)、PVDF (LiBバンイダー、バックシート用途)、負極材 (車載用・定置用LiB)、炭素繊維 (太陽電池シリコン塊製造装置向け断熱材)、PGA (シエルーガス・石油掘削用)

【化学製品】 慢性腎不全用剤 (国内での伸張、2013年度からの欧米での販売開始予定)、農業用殺菌剤

【樹脂製品】 業務用包装資材のコスト競争力強化とアジア展開加速

KUREHA

# 新中計「中期経営計画Grow Globally-」 ～成長ドライバー～

株式会社クレハ

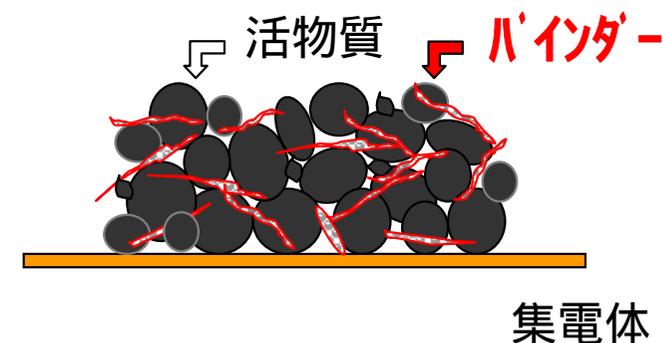


地球環境や人々の暮らしに有益なソリューションを提供

KUREHA

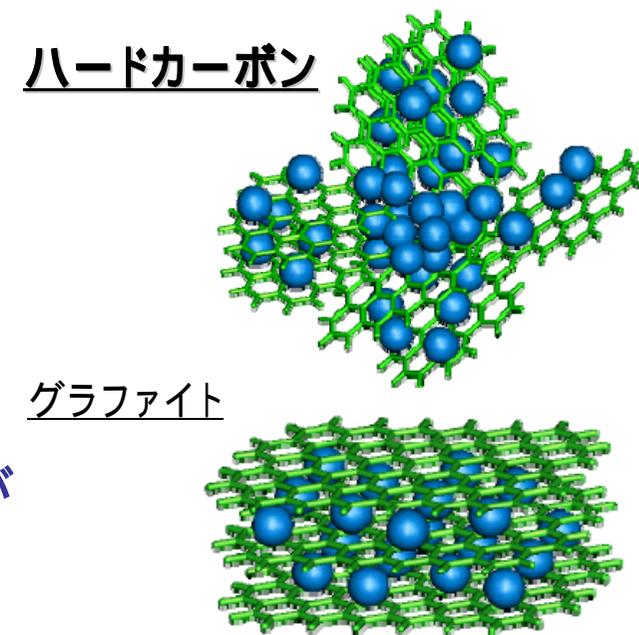
## ➤ フッ化ビニリデン樹脂 (PVDF)

- ・ リチウムイオン電池用 (LiB) は従来の民生用途に加え、車載用や定置用電源向けの需要が急速に拡大中。
- ・ 太陽電池用バックシート向けや中空糸向けにも展開加速。
- ・ いわき事業所の年産4千トンプラントはフル稼働中。
- ・ 2014年には中国・常熟に年産5千トンプラントを新設。将来の増強も視野に。



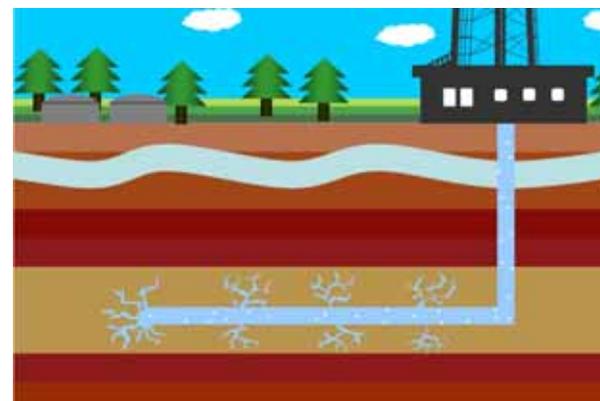
## ➤ 大型LiB用負極材 (ハードカーボン)

- ・ ハードカーボンは入出力特性と耐久性で優位性あり。
- ・ 石油由来のハードカーボンに加え、植物由来のものも(株)クラレと事業化へ。
- ・ (株)クレハ・バッテリー・マテリアルズ・ジャパンを軸とした他社との連携により、変化と拡大のスピードに対応。
- ・ 新材料研究所(いわき)と電池材料技術センター(東京)がニーズに合った最適な材料を供給。
- ・ 更なる需要拡大に備え、国内外での供給体制を整備。



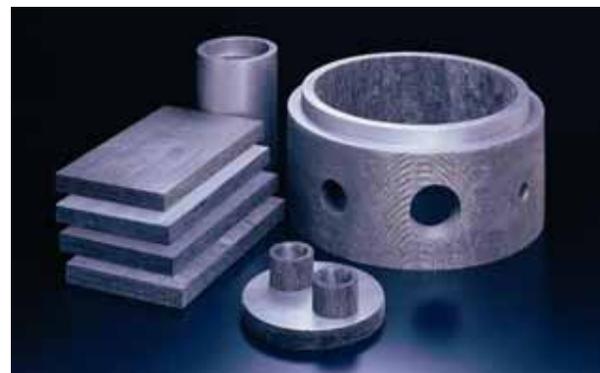
## ➤ PGA (ポリグリコール酸)

- ・ PGAの持つ生分解性、加水分解性、高強度、ハイバリア性を活かした様々な用途開発が進行中。
- ・ シェールガスや石油の掘削時に使用する材料として、高強度と低温領域における短時間での分解性が評価されている。
- ・ 米国プラントは今年から稼動開始。2015年度に黒字化を計画。
- ・ 将来の増強に向けたプロセス開発も開始している。



## ➤ ピッチ系炭素繊維

- ・ ウエハーや太陽電池の素材となるシリコン塊の製造装置用断熱材。足下は調整局面も、太陽電池向けは中長期的には需要拡大の見通し。
- ・ いわき事業所をマザー工場として、中国や米国の生産拠点を含めて需要動向を見ながら拡充。
- ・ 自動車部品向けの複合材料用途(チョップ)も着実に拡大中。



### ➤ 慢性腎不全用剤「クレメジン」

- ・尿毒症症状の改善と透析導入の遅延効果あり。
- ・患者の負担軽減のみならず、医療経済上も貢献。
- ・慢性腎不全患者数の増加と悪化抑制への動きから、国内処方患者数は今後も増加の見通し。
- ・田辺三菱製薬(株)が欧米でのフェーズ 試験実施中。販売開始は2013年度を予定。
- ・欧米展開に合わせていわき事業所での設備増強が進行中。



### ➤ 農業用殺菌剤「メトコナゾール」

- ・麦、菜種、大豆、とうもろこし、芝等の茎葉散布剤の原体として供給。
- ・欧州での安定的な伸びに加え、北米・南米での拡大を見込む。
- ・生産技術を供与し、他社に生産を委託して顧客に供給中。
- ・農薬研究所(いわき)で新剤の開発が進行中。



## ➤ 業務用包装フィルム「クレハロン」のグローバル展開と競争力強化

- ・クレハベトナムでのフィルム加工体制が整い、コストを含めて競争力がアップ。
- ・アジアの食品メーカーとも連携し、レトルトソーセージ市場拡大を図る。
- ・多層フィルムは、欧州とベトナムの拠点からグローバルに展開し、シェア拡大。



## ➤ 家庭用品のブランド力向上

- ・「NEWクレラップ」はお客様の使い勝手と安全・安心に配慮した改良を継続。商品力の向上で、お客様満足度とブランド力向上につなげる。
- ・「キッチンさん」のブランド浸透を進め、台所まわりの商品ラインアップを拡充。



## ➤ (株)クレハ環境による産業廃棄物処理事業の拡大

- ・処理困難廃棄物処理の受注拡大と適切かつ確実な処理の継続。
- ・微量PCB処理事業の推進。



**KUREHA**

“素材”は農耕民族型モノづくり。

種を蒔き、実らせ、収穫するまでの道のりは長い。

“素材”はマーケットの変化とともに磨き、磨かれ、光り輝いていく。

- 研究開発部門は生産部門の近傍に立地し、Made in Japan、Designed by Japanのモノづくりを支える。次世代の種探しはすでに始まっている。
- いわき事業所は、世界の各生産拠点をリードするマザー工場としての役割を果たす。
- 研究開発と生産の本拠地は日本に持ち、地元・福島の復興と共生をはかりつつ、グローバル展開を進める。
- コア技術(「秘伝のタレ」)は海外に出すことなく、これからも日本で熟成させていく。

地球環境と人々の暮らしに貢献します

“Grow Globally”

- 本資料はあくまで当社をより深くご理解いただくための資料であって、本資料による投資等何らかの行動を勧誘するものではありません。
- 本資料は、現時点で入手可能な情報に基づいて当社の判断により作成されておりますが、実際の業績が様々な要素により計画とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。
- 本資料のご利用に関しましては、ご自身の判断と責任にてお願いいたします。